

事業名 ^{そうぶんがわ} 惣分川局部改良事業・
地方特定河川等環境整備事業

“子供たちの楽しいアイデアを取り入れた「水辺の楽校」”洪水のたびに小学校の運動場や民家が浸水していたことから、治水安全度の向上を図りつつ、豊かな自然環境の保全や親水性にも配慮し、隣接する笹岡小学校の子供たちのアイデアを反映した自然豊かで利用者等の評価の高い事業

受賞機関 岡山県東備地方振興局建設部
工務二課
事業実施期間 平成2年4月1日～平成8年3月31日
事業費 590百万円

事業等の特徴

本事業は「水辺の楽校」として登録されているものではなく、岡山県が独自に取り組んだものである。こうした意欲的な取り組みが地域との連携の上にも活かされている。

事業の概要と利用者等の評価

惣分川は吉井町平山を源とし、山間部を流下して岡山県の三大河川の一つである旭川の支川・砂川に、赤坂町で合流している延長約4.2km・流域面積5.0km²の一級河川であり、洪水のたびに笹岡小学校の運動場や民家が浸水被害を被っていたため、河川公園を併せて整備した。

改修前の川が学校用地を2分して流れていたこともあり、教育の一環としてこの川を活用していた。

このことから、小学校の子供たちの意見を反映した自然を生かした川づくり“子供たちの楽しいアイデアを取り入れた「水辺の学校」”(全体延長440m)が計画された。

具体的には、水遊び・自然観察・魚捕り・散歩等ができる川として改修するために、すき間のある木材や石を使って、魚にやさしい自然な水際や河原を復元し、“みお筋”を蛇行させたり置き石により、瀬や淵をつくり、水の流れに多様な変化を持たせてある。改修にあたっては「水辺の楽校」として、水辺を身近な遊びの場・自然体験の場として利用できるように地域の方々の協力のもと、子供たちの健全な成長に水辺が役立つように整備している。



全景

改修後、すぐに緑を取り戻し、翌年にはホタルやオイカワなどの魚の生息する様子もみることができ、自然が保たれた。



水遊び

現在、多様な水生植物が育ち、数多くの種類の魚が生息しており、夏にはホタルが飛び交っている。

自然を学ぶという意味で近隣小学校の課外学習が行われ、一方、他県からの環境整備の研究の場として見学者が訪れている。

隣接する小学校では、自然観察のため川を探索し、子供たちのアイデアにより設置された飛び石で子供たちが水遊びに興じている。年間十数回の課外学習の場として活用されている。

また、山際には花壇ブロックが設置され、花壇や護岸の草取りなど子供と大人の世代を超えた交流の場にもなっている。

平成10年の赤坂町による町内の事業に係わるアンケートによれば、地元地区で、支持する回答が第2位に位置するなど、本事業は官民一体となった事業であるといえる。

審査委員会委員の意見等

- ・教育の場や清掃の対象などさまざまな年代層が参加できる仕組みになっている。
- ・特に、清掃・維持管理活動への地域からの参加はこの事業がうまく受け入れられている何よりの証左であろう。
- ・国主導ではない形で、むしろ地域から手があがり国と連携するといった仕組みを評価をしたい。